



一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
理事長

高田 研

本年度エントリーいただいた183の団体。600人の当日参加者、協賛いただいた企業、そして文科省、環境省、審査委員、実行委員の皆様。この取り組みに関わっていただきました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

環境大臣のグランプリを受賞されたNPO法人田舎のヒロインズは、脱炭素の取り組みとしてだけでなく、農村地域の再生、ジェンダー、そして日々の生活労働をおしゃれに捉え直すSDGsの視点にあふれた元気の出るものでした。

千波湖水質浄化推進協会の皆さんの「アオコを肥料へ!荒れ地に命を!千波湖脱炭素市民プロジェクト」のパフォーマンスはアオコから堆肥に変身する、会長自らが身体を張った発表でした。本来は地味な日々の活動を印象深く伝えようという意気込みに溢れ、マクドナルドオーディエンス賞を獲得されました。

私の大学があります都留市の小水力市民発電所の取り組みが、このアワードの前身に当たりますストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会2008で金賞をいただいております。鎧兜に身を固めて勇ましく出陣した当時の担当者とアオコを演じられた会長の姿が重なりました。

都留市の取り組みは受賞後全国区となり、見学に来られた小水力発電メーカーのS社は市内に国産の発電機を設置しました。また全国の自治体や研究機関からの視察が増え、2012年までに視察者は1万人を超えました。このようにアワードの成果としては表には出ない“効果”は今回もそれぞれに大きいと思います。

今回受賞された岡山県の学童保育の実践は、地域の子育て基盤として重要な役割を担って地道に活動が続けているみなさんが施設の木造化に取り組んだもので、一般社団法人日本WPAからの賞をいただきました。また、京都府立桂高等学校は、廃棄されるコーヒー残渣を、きのこの菌床栽培に活用した循環型農業に向けての取組が、セブン-イレブン記念財団の最優秀地域活性化賞を受賞しました。財団は、今後も関係していくということでした。

受賞がゴールではなく、このように支援する企業との良い出会いが生まれ“効果が持続する仕掛け”となっていくことを期待したいと思います。



共 催 脱炭素チャレンジカップ実行委員会

共 催  一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

特別協賛  

協 賛   一般社団法人 日本WPA   公益財団法人 SOMPO環境財団

     一般社団法人
ZEH推進協議会

  ホタルネットワーク mito
株式会社森久 

協 力      よろこびがっく世界へ
KIRIN

後 援  環境省  文部科学省  プラチナ構想ネットワーク  国連広報センター

事務局 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

お問い合わせ先



脱炭素チャレンジカップ事務局
(地球温暖化防止全国ネット内)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3
第一アマイビル4階
TEL:03-6273-7785 FAX:03-5280-8100
teitanso-hai@jccca.org
<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>



この印刷物は、FSC®認証紙を使用し、「水なし印刷」で印刷しています。また、省資源化(フィルムレス)に繋がるCTPにより製版しています。

